



2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)



2018年8月3日

上場会社名 リスクモンスター株式会社
 コード番号 3768 URL <http://www.riskmonster.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 太一
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部長 (氏名) 吉田 麻紀
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-6214-0331

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	691	0.6	80	2.7	83	4.1	47	14.5
2018年3月期第1四半期	687	7.8	82	11.4	87	12.3	55	12.5

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 158百万円 (1.5%) 2018年3月期第1四半期 161百万円 (160.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	12.23	12.19
2018年3月期第1四半期	14.19	13.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	5,362	4,403	80.8	1,125.93
2018年3月期	5,279	4,357	81.3	1,103.29

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 4,335百万円 2018年3月期 4,292百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		15.00	15.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		0.00		16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,480	4.0	230	5.3	230	1.8	145	1.7	37.59
通期	2,950	4.9	430	6.2	430	5.3	270	3.0	70.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	3,923,500 株	2018年3月期	3,923,500 株
期末自己株式数	2019年3月期1Q	72,700 株	2018年3月期	33,200 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	3,863,388 株	2018年3月期1Q	3,895,113 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
3. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、原材料価格の上昇や米国の通商政策の不透明感から、景気は足踏み感がみられ、今後も引き続き、お客様のサービス選別が厳しくなることが考えられます。

こうした状況の下、当社グループは、3ヶ年計画「第5次中期経営計画（2016～2018年度）」の基本方針に沿い、以下のような取り組みを実施いたしました。

- ・「Japan IT Week春 第9回クラウドコンピューティングEXPO」に当社グループ全社が出展（5月）
- ・当社グループのBPO事業の中核会社であるリスモン・マッスル・データ株式会社と日本アウトソース株式会社が東京都渋谷区から東京都品川区西五反田7丁目24番5号に移転（5月）
- ・財務分析に特化した「RM財務格付」の与信判断指標を改良（6月）
- ・リスモン・ビジネス・ポータル株式会社がJ-MOTTO（ジェイモット）のオプションサービスである「Web給与明細」及び「J-MOTTOワークフロー」を個別サービスとして提供開始（6月）
- ・当第1四半期連結累計期間に発表したリスモン調べ
 - 「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業」調査結果（4月）
 - 「離婚したくなる亭主の仕事」調査結果（5月）
 - 「この企業に勤める人と結婚したいランキング」調査結果（6月）
- ・当第1四半期連結累計期間に発表したリスモン業界レポート
 - 「機械器具小売業」（4月）
 - 「職業紹介・労働者派遣業」（5月）
 - 「情報通信機械器具製造業」（6月）

<連結業績について>

当第1四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		前年 同期比 (%)
		対売上比 (%)		対売上比 (%)	
売上高 (千円)	687,027	100.0	691,261	100.0	100.6
営業利益 (千円)	82,508	12.0	80,268	11.6	97.3
経常利益 (千円)	87,061	12.7	83,486	12.1	95.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (千円)	55,261	8.0	47,259	6.8	85.5

(売上高)

会員数が増加したこと等から、主力の与信管理サービス等、ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）及びその他サービスにおける教育事業の売上高が堅調に増加し、BPOサービスの売上高が減少したものの、連結の売上高は691,261千円（前年同期比100.6%）となりました。

(営業利益及び経常利益)

新規会員獲得やサービス拡販のための体制強化に注力し、コールセンターの増員を行ったことやマーケティングを強化したこと、また、BPOサービスがセグメント損失となったため、営業利益はほぼ前年同期並みの80,268千円（前年同期比97.3%）、経常利益は83,486千円（前年同期比95.9%）となりました。

(親会社株主に帰属する四半期純利益)

BPOサービスの事務所及び国内センター移転に伴い一時費用を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は47,259千円（前年同期比85.5%）となりました。

<セグメント別の業績について>

セグメント別の売上高につきましては、セグメント間取引消去前の売上高で記載しております。

ア) 与信管理サービス等について

与信管理サービス等の業績は、次のとおりであります。

サービス分野別		当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	前年同期比 (%)
ASP・クラウドサービス (千円)		367,722	103.8
コンサルティング サービス	ポートフォリオサービス及び マーケティングサービス (千円)	45,103	114.7
	その他 (千円)	18,877	80.7
	コンサルティングサービス売上高 合計 (千円)	63,980	102.0
売上高合計 (千円)		431,703	103.6
セグメント利益 (千円)		61,868	122.5

当第1四半期連結累計期間の与信管理サービス等の売上高の合計は431,703千円（前年同期比103.6%）、セグメント利益は61,868千円（前年同期比122.5%）となりました。

利益率の高いASP・クラウドサービスは、会員数が増加し定額の利用料が積み上がったことに加え、従量制サービスの利用が堅調だったことに伴い、367,722千円（前年同期比103.8%）となりました。

ポートフォリオサービス及びマーケティングサービスは、ポートフォリオサービスの受注件数が増加したことに伴い45,103千円（前年同期比114.7%）と好調で、金融サービス等を含むその他の売上高が18,877千円（前年同期比80.7%）となった結果、コンサルティングサービスの売上高の合計は63,980千円（前年同期比102.0%）となりました。

セグメント利益につきましても、新規会員獲得やサービス拡販のためにコールセンターの増員を行ったものの、売上高が増加したこと等により前年同期を上回りました。

イ) ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）について

ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）の業績は、次のとおりであります。

サービス分野別		当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	前年同期比 (%)
ASP・クラウドサービス (千円)		128,560	99.3
その他 (千円)		13,534	115.8
売上高合計 (千円)		142,094	100.6
セグメント利益 (千円)		43,826	90.1

当第1四半期連結累計期間のビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）の売上高の合計は142,094千円（前年同期比100.6%）、セグメント利益は43,826千円（前年同期比90.1%）となりました。

会員数及びユーザー数が増加したことに伴い売上高は前年同期を上回りました。利益につきましては、利益率が高いディスク容量の利用が減少したことや、新規会員獲得やサービス拡販のために、お客様をサポートするコールセンターを増員したことやマーケティングを強化したこと等により、セグメント利益は前年同期を下回りました。

ウ) BPOサービスについて

BPOサービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	前年同期比 (%)
BPOサービス売上高合計 (千円)	80,176	84.2
セグメント損失 (千円)	12,765	—

当第1四半期連結累計期間のBPOサービスの売上高は80,176千円（前年同期比84.2%）、セグメント損失は12,765千円（前年同期はセグメント損失2,400千円）となりました。

利益率の高い既存案件の売上高が減少したこと等により、セグメント損失となりました。

エ) その他サービスについて

その他のセグメントの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	前年同期比 (%)
「教育関連事業」等を含むその他サービス売上高合計 (千円)	72,697	101.6
セグメント利益 (千円)	4,633	159.3

当第1四半期連結累計期間のその他の売上高は72,697千円（前年同期比101.6%）、セグメント利益は4,633千円（前年同期比159.3%）となりました。

当第1四半期連結累計期間の教育関連事業は、定額制の社員研修サービス「サイバックスU n i v . 」の会員数が1,845会員に増加し定額の利用料が積み上がったことや、労働者派遣法の改正により社員教育強化のニーズが高まり、売上高は好調に推移しました。

また、当社グループ商材の海外展開（中国）を事業とする利墨（上海）商務信息咨询有限公司（リスクモンスターチャイナ）が運営する与信管理及びグループウェアサービス等の会員数は、656会員となりました。

セグメント利益につきましては、教育関連事業における売上高増加が寄与し、前年同期を上回りました。

<会員数について>

会員数を増やすための施策に注力した結果、当第1四半期連結会計期間末における会員数は順調に推移いたしました。会員数の推移（累計）を示すと、次のとおりであります。

回次	第15期	第16期	第17期	第18期	当第1四半期
決算年月	2015年 3月	2016年 3月	2017年 3月	2018年 3月	2018年 6月
与信管理サービス等（注）1	5,055	5,223	5,541	5,907	5,979
ビジネスポータルサイト （グループウェアサービス等）（注）2	3,191 (123,625)	3,098 (127,122)	3,039 (127,915)	3,058 (131,724)	3,068 (134,210)
その他（注）3	1,847	2,084	2,258	2,475	2,501
会員数合計	10,093	10,405	10,838	11,440	11,548

(注) 1. サービス相互提携を行う会員を含む

2. () は外数でユーザー数

3. 定額制の社員研修サービス「サイバックスU n i v . 」または中国における与信管理及びグループウェアサービス等を利用できる会員

4. 会員数は当社に登録されているID数

なお、上記においては重複登録している会員が一部おります。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比べ84,703千円減少し、2,332,139千円となりました。これは主に、自己株式の取得や、税金及び配当金の支払い等により現金及び預金が減少したことによるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ167,481千円増加し、3,030,637千円となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価等によるものです。その結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ82,778千円増加し、5,362,777千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比べ11,934千円減少し433,801千円、固定負債は49,040千円増加し525,859千円となりました。その結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ37,105千円増加し、959,661千円となりました。

純資産は、投資有価証券の時価評価等により前連結会計年度末と比べ45,673千円増加し、4,403,116千円となりました。また、自己資本比率は80.8%となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度末に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で比較を行っております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の通期の業績見通しといたしましては、売上高2,950百万円（前連結会計年度比104.9%）、営業利益430百万円（前連結会計年度比106.2%）、経常利益430百万円（前連結会計年度比105.3%）、親会社株主に帰属する当期純利益270百万円（前連結会計年度比103.0%）を予定しております。

業績予想に対する当第1四半期連結累計期間の進捗につきましては、売上高、利益ともにほぼ当初の予定どおり進捗しており、現時点におきましては、連結業績予想の変更はございません。

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益
2018年9月中間期予想	1,480	230	230	145
2017年9月中間期実績	1,423	218	225	142
前年同期比（%）	104.0	105.3	101.8	101.7
2019年3月期予想	2,950	430	430	270
2018年3月期実績	2,811	404	408	262
前連結会計年度比（%）	104.9	106.2	105.3	103.0

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,813,891	1,796,336
受取手形及び売掛金	376,995	366,442
有価証券	99,999	99,999
原材料及び貯蔵品	12,468	11,481
その他	114,337	59,090
貸倒引当金	△849	△1,210
流動資産合計	2,416,843	2,332,139
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	540,301	553,268
減価償却累計額	△75,225	△80,584
建物及び構築物（純額）	465,076	472,684
工具、器具及び備品	450,915	459,627
減価償却累計額	△361,890	△365,319
工具、器具及び備品（純額）	89,025	94,308
土地	568,352	568,352
リース資産	4,860	4,860
減価償却累計額	△3,240	△3,442
リース資産（純額）	1,620	1,417
建設仮勘定	200	30
有形固定資産合計	1,124,274	1,136,793
無形固定資産		
ソフトウェア	557,782	562,102
その他	45,043	46,748
無形固定資産合計	602,826	608,850
投資その他の資産		
投資有価証券	1,088,506	1,239,864
その他	47,549	45,274
貸倒引当金	—	△145
投資その他の資産合計	1,136,055	1,284,993
固定資産合計	2,863,155	3,030,637
資産合計	5,279,998	5,362,777

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
未払金	204,920	209,591
1年内返済予定の長期借入金	60,160	60,160
未払法人税等	70,088	24,977
賞与引当金	740	370
その他	109,826	138,702
流動負債合計	445,736	433,801
固定負債		
長期借入金	335,960	328,420
退職給付に係る負債	7,626	7,886
その他の引当金	7,027	8,119
その他	126,204	181,434
固定負債合計	476,819	525,859
負債合計	922,555	959,661
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,155,993	1,155,993
資本剰余金	1,007,130	1,007,130
利益剰余金	1,836,467	1,825,372
自己株式	△48,070	△102,714
株主資本合計	3,951,520	3,885,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	327,909	437,464
為替換算調整勘定	12,689	12,481
その他の包括利益累計額合計	340,598	449,945
新株予約権	157	157
非支配株主持分	65,166	67,231
純資産合計	4,357,443	4,403,116
負債純資産合計	5,279,998	5,362,777

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）
売上高	687,027	691,261
売上原価	319,018	315,357
売上総利益	368,008	375,903
販売費及び一般管理費	285,500	295,635
営業利益	82,508	80,268
営業外収益		
受取利息	282	32
受取配当金	4,572	6,003
投資事業組合運用益	1,581	—
その他	267	161
営業外収益合計	6,704	6,197
営業外費用		
支払利息	1,161	1,004
投資事業組合運用損	—	1,396
その他	990	578
営業外費用合計	2,151	2,979
経常利益	87,061	83,486
特別損失		
事務所移転費用	344	6,944
その他	4	643
特別損失合計	349	7,588
税金等調整前四半期純利益	86,711	75,898
法人税、住民税及び事業税	13,344	21,527
法人税等調整額	15,553	5,142
法人税等合計	28,898	26,670
四半期純利益	57,813	49,227
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,552	1,968
親会社株主に帰属する四半期純利益	55,261	47,259

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）
四半期純利益	57,813	49,227
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	102,795	109,717
為替換算調整勘定	420	△273
その他の包括利益合計	103,215	109,443
四半期包括利益	161,028	158,671
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	158,352	156,606
非支配株主に係る四半期包括利益	2,675	2,065

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	与信管理 サービス等	ビジネスポ ータルサイト (グループウ ェアサービス 等)	B P O サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	416,091	140,999	84,516	641,607	45,419	687,027	—	687,027
セグメント間の内部 売上高又は振替高	781	180	10,714	11,676	26,163	37,840	△37,840	—
計	416,873	141,180	95,230	653,284	71,583	724,867	△37,840	687,027
セグメント利益又は 損失 (△)	50,494	48,638	△2,400	96,733	2,909	99,642	△17,134	82,508

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育関連事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	与信管理 サービス等	ビジネスポ ータルサイト (グループウ ェアサービス 等)	B P O サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	431,075	141,848	70,009	642,932	48,328	691,261	—	691,261
セグメント間の内部 売上高又は振替高	628	246	10,167	11,042	24,368	35,410	△35,410	—
計	431,703	142,094	80,176	653,974	72,697	726,672	△35,410	691,261
セグメント利益又は 損失 (△)	61,868	43,826	△12,765	92,929	4,633	97,563	△17,294	80,268

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育関連事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

3. 補足情報

要約連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ※1	13,810	176,152
投資活動によるキャッシュ・フロー ※2	△81,162	△74,401
財務活動によるキャッシュ・フロー ※3	△133,904	△118,838
現金及び現金同等物に係る換算差額	143	△468
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△201,112	△17,555
現金及び現金同等物の期首残高	2,030,367	1,812,746
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,829,255	1,795,190

前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
主要な費目及び金額は次のとおりであります。 ※1 税金等調整前四半期純利益 86,711 減価償却費 73,229 法人税等の支払額 △102,452 ※2 有形固定資産の取得による支出 △20,963 無形固定資産の取得による支出 △71,824 ※3 配当金の支払額 △48,644 自己株式の取得による支出 △77,516	主要な費目及び金額は次のとおりであります。 ※1 税金等調整前四半期純利益 75,898 減価償却費 74,692 法人税等の支払額 △61,435 ※2 敷金の回収による収入 12,448 有形固定資産の取得による支出 △32,048 無形固定資産の取得による支出 △60,351 ※3 配当金の支払額 △56,445 自己株式の取得による支出 △54,644